

ライブハウスにおける

令和2年6月15日作成
(令和5年3月10日更新)
鳥取県くらしの安心推進課

事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

問合わせ先 新型コロナウイルス克服くらしの安心 相談・応援窓口	東部 県庁くらしの安心推進課 中部 中部総合事務所環境建築局 西部 西部総合事務所米子保健所	☎0857-26-7982 ☎0858-23-3982 ☎0859-31-9340
---------------------------------------	------------------------------------------------------	-------------------------------------------------

店舗の営業場面ごとの感染拡大予防対策

公演イベントを開催する場合は、「公演イベントにおける事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、イベント主催者と協力の上、来場者に大声を出したり、大騒ぎしないよう呼びかけして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。

1 各場面の共通事項

<マスクの着用> 令和5年3月13日から適用

- ・マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、営業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは可能です。

マスクの着用は場面に応じて適切に選択しましょう。

従業員のマスクの着用は、従業員の感染防止とお客様を守ることにもつながります。

マスクの着用を推奨する場面等、店舗の感染対策の内容を掲示しましょう。

<従業員がマスクを着用する場面の例>

- ・一定時間以上の会話や近い距離での接客

<お客様にマスクの着用を推奨する場面の例>

- ・換気が十分にできない場面
- ・混雑した場面
- ・大声を出す場面
- ・重症化リスクの高い方がいる場面 など

2 開場準備

- ・公演に関するリハーサル、撤去等に十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょう。
- ・スタッフに出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるスタッフは出勤しないよう呼びかけましょう。

▶スタッフの体調不良を事前に把握することが重要です。出演者も同様です。

- ・感染したスタッフや感染疑いのあるスタッフが出勤しないようにしましょう。

▶体調不良の方が申し出られるよう、休暇を取りやすい環境・体制を作りましょう。

- ・開場に備えて施設及び会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。

▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。また、空気の流れを阻害しないパーティションの設置や、十分な外気取り入れとあわせ、奥まった部分にもサーキュレーターで空気を送ることも効果的です。

① 窓を開けても風が入りにくい場合の工夫

空気が入ってくる窓を小さく、空気を外へ出す窓を大きく開けて空気の流れを作りましょう。

② 窓がない場合の工夫

換気口も無い場合は、ドアを開けて扇風機、サーキュレーターなどで部屋の外に空気を出す流れを作りましょう。また、換気口がある場合は、ドアを開けて扇風機、サーキュレーターなどを換気口に向け、部屋の中に空気を流れ入れる環境を作りましょう。

- ・ 観覧スペースでは、人と人が触れ合わない程度の間隔を確保しましょう。
- ・ 出演者が声を発生する演劇やコンサートの場合、ステージと観覧スペースの間を透明ビニールカーテン等で遮蔽しましょう。
 - ▶ 飛沫感染を防止することが重要ですので、観覧スペースでは大声を出したり、大騒ぎしないようにしましょう
- ・ 演奏機材の搬入、出演者等の出入りやお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
 - ▶ 出演者やスタッフを感染リスクから守ることも重要です。施設裏口等を活用しましょう。
- ・ お客様が会場内で密集しないよう、行列が想定される場所にはお客様同士が触れ合わない程度の間隔をとっていただくよう掲示をしましょう。
 - ▶ 会場入口、トイレ、ロッカー、物販ブース等、混雑が想定される場所の対策を行いましょ。
 - ▶ トイレの混雑対策として来場前に用便を済ますように事前に呼びかけたり、掲示を行いましょ。
- ・ トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。
- ・ 楽器、モニタースピーカー等のライブハウスが準備して演者が共通して使用する機材も入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょ。
 - ▶ 機材を取り扱うスタッフを限定して、機材への接触を減らすことも有効です。
- ・ 出演者やスタッフは来客用のトイレの使用を控えましょ。
 - ▶ 接触の機会を減らすことが重要です。お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょ。
- ・ 感染予防対策に万全を期していることや具体的な対策をスタッフで共有しましょ。
- ・ 公演主催者と相談して、施設の規模や換気性能に応じて、公演中の定期的な会場換気のための休憩回数や休憩時間を予め設定しましょ。
- ・ 公演主催者に、接触（モッシュやハイタッチ）や声援（コール&レスポンス）等の密集・密接を惹起する演出は控えるよう呼びかけましょ。
- ・ 公演でのアルバイト採用者や公演主催者の緊急連絡先を把握し、関係者の感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力しましょ。
- ・ 施設内でスタッフが密集せず、事業継続できるシフトを決めましょ。
- ・ 発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう掲示をしましょ。
- ・ 感染予防のためサービス内容の変更・中止も検討しましょ。
 - ▶ サービス内容を変更・中止する場合は、その旨を掲示しましょ。
- ・ 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店はステッカーを入口に掲示し、協賛店となる際に宣言した感染防止対策を徹底しましょ。
- ・ 鳥取県新型コロナ対策認証店はステッカーを入口に掲示し、認証店となる際に宣言した感染防止対策を徹底しましょ。

3 チケットの窓口販売

- ・ 購入待ちでお客様が密集しないようチケット販売窓口前に立ち位置を示して、間隔をあけて並んでいただくよう呼びかけましょ。
- ・ 販売窓口では、お客様とスタッフがともに咳エチケットを実践しましょ。来場者の氏名や緊急連絡先を把握できるデジタルチケットや電子決済を活用しましょ。現金等の受け渡し後には手指消毒をしま

しょう。

4 入場（開場）

- ・ チケット確認するスタッフは咳エチケットを実践しましょう。
 - ▶ デジタルチケット等の活用による非接触の入場受付やお客様自身が切ったチケットの半券をスタッフが確認する方法も検討しましょう。
- ・ 会場出入口や物販スペースでお客様が密集しないよう、間隔をあけて並ばせたり、チケット番号等により入場できる時間やグッズを購入できる時間を設けるなどの対応をしましょう。
- ・ 出演者が直接お客様に物販する場合は、出演者に握手等の接触を控えるよう要請しましょう。
 - ▶ 開場から開演までの時間を長めにとって、入場や物販の混雑を緩和しましょう。
- ・ 来場時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様の入店はお断りしましょう。
 - ▶ お客様の体温確認のため、非接触型の体温計の導入も検討しましょう。
- ・ 出入口や会場入口に手指の消毒設備を設置し、入店時にお客様に手指消毒を要請しましょう。
 - ▶ 施設内での手指の洗浄や消毒の励行も呼びかけましょう。
- ・ お客様に、パンフレット等を手渡して配布することを避けるとともに、出演者へのプレゼントも受け付けないようにしましょう。
- ・ お客様に、施設や会場内外での大声の発生や過度な飲酒は控えていただくよう要請しましょう。
 - ▶ 施設内放送による呼びかけ等も有効です。
- ・ お客様がロッカー付近で密集しないよう、フィジカルディスタンスを確保できるだけのロッカー数を予め設定し、使用について予約制を取り入れましょう。
- ・ お客様が会場に入場した後も施設及び会場の扉や窓を開けるなど、公演開始直前まで施設全体の換気をしましょう。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・ お客様に、公演中は公演主催者の感染拡大予防対策に従うよう呼びかけしょう。

5 食事（該当する場合）

- ・ 食事を提供する場合は、「飲食店における事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょう。

6 公演中

- ・ 換気扇を常時稼働させるとともに、会場の窓やドアを開け、給気と排気を確保しましょう。
- ・ 休憩時間に施設及び会場の扉や窓を開けるなど、定期的に施設全体の換気をしましょう。
 - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- ・ 観客は、大声を出さないよう要請しましょう。

7 退場（閉店）

- ・ 会場出入口や施設出入口でお客様が密集しないよう、チケット番号等による規制退場を誘導しましょう。
 - ▶ 退場する際もお客様同士で間隔をあけていただくよう呼びかけましょう。
- ・ 会場を出た後は、お客様が施設内外で密集しないように速やかな帰宅を呼びかけましょう。

8 閉店後

- 明日の公演に備えて、施設及び会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。
 - ▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇、扇風機、サーキュレーターなども活用して空気の流れを作って吸込口（入口）と吹出口（出口）を意識して空気を入れ替えましょう。
- 店舗内清掃を徹底し、トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分や、楽器、モニタースピーカー等のライブハウスが準備して出演者が共通して使用する機材は入念に拭き取り清掃及び消毒液による消毒をしましょう。
- スタッフのユニフォームや衣装はこまめに洗濯しましょう。
- ゴミ出しの後は必ず手を洗いましょう。

9 店舗の管理

- 換気設備を定期的に点検しましょう。
- 手洗い後は、ペーパータオルを設置するか、個人用タオルの利用を促しましょう。ハンドドライヤーを使用する場合は、定期的な清掃や消毒をしましょう。
- ゴミはゴミ箱に入れて密閉しましょう。
- 出演者の控え室等も換気や拭き取り清掃及び消毒液による消毒を徹底しましょう。
- 控え室等では、使い捨ての紙皿やコップを使用しましょう。
- 従業員の控え室等も換気や拭き取り清掃及び消毒液による消毒を徹底しましょう。休憩室を複数人が利用される場合は、ディスタンスの確保のほか、会話を控え、定期的な換気を心がけましょう。